

2025 年度一般社団法人岡山県教育職員互助組合助成事業

第23回 ワクワク ドキドキ

「科学であそぼう 2025」



- 日時：令和 7 年 11 月 3 日(月・文化の日)12:30～15:00
- 場所：浅口市鴨方町ふるさとかもがたプラザ“ビッグハット”
- 参加人数：実験参加者 234 名・付き添い者 271 名
ボランティアスタッフ：125 名(中・高・大学生・大人)

今年で 23 回目を迎えた長寿イベント『科学であそぼう』！

皆さまの温かいご支援のもと、盛況のうちに無事終了いたしました。
実験参加者 234 名、大人 165 名、幼児 106 名、そして中学 1 年生から
70 代までのボランティアスタッフ 125 名、合計 630 名の方々にご参加
いただきました。

当日は多くの子どもたちが科学にふれ、五感で「不思議・驚き・喜び」
を感じる体験を楽しんでいました。また、中高生がボランティアスタッフ
としてブース運営に最後まで参加し、やりがい感や達成感を感じる機会と
なったようです。

本事業は、学校、協賛企業、関係団体、地域の方々とのあたたかいつな
がりにより、子どもから大人まで笑顔あふれる事業へと成長し続けており
ます。

これからも地域に根ざし、未来を担う子どもたちの輝きを育む場として
歩みを進めてまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。



【目次】

科学であそぼう	・・・ P1～2
行事報告	・・・ P3
舞台鑑賞	・・・ P4～5
食卓に吹く風	・・・ P6
本が好き	・・・ P7
お知らせ	・・・ P8

■行事報告

科学であそぼう 2025

■ブース名

- 1、防災あれこれ
- 2、おっきくして、
みてみよう！
- 3、環境学習車
- 4、たった5分で
シャーベット
- 5、えがいてちぢんで
たのしもう！
- 6、べっこう飴屋さん
かんろ飴屋さん
- 7、木育
- 8、皿回し
- 9、星座早見表
- 10、恐竜のたまご
- 11、ペンシルバルーン電話
- 12、CD ヘビゴマ
- 13、黒豆ジュース
- 14、ペットボトルロケット
- 15、空気砲
- 16、はばたきひこうき
- 17、卵にのってみよう！



受付は長蛇の列！うれしい悲鳴です！



カンナを使って、オリジナルのマイ箸を作ってます！



ボランティアの皆さん丁寧な説明ありがとうございます！



生卵に乗っても割れないんだね！すごい！



← 星座早見表作成中！みんな真剣！

ボランティアのお兄さんの説明を真剣に聞いています。



防災コーナーには、避難場所のパーテーションや段ボールベットの展示もありました。



今回初お披露目の『はばたき ひこうき』ブース！



ペンシルバルーンと紙コップでつくった電話！めっちゃ聞こえる～

■行事報告

大井児童館

子育てひろば「あおぞら」&ひよこクラブ

■『うらちゃんと木で遊ぼう!』

・日時：各土曜日

2025年11月8日・

15日・29日

14時～16時

参加者：幼児 8人

小学生 18人

大人 10人

合計 36人

ボランティア：

浦上豊志さん

内容：木工体験



地域のボランティアの協力により、子どもたちが自由に木に触れる体験活動を行いました。

笠岡市内でナチュラルインテリア家具と木工小物を制作されている「カンントリーバーン」から頂いた端材の中から、自分で好きな材料を選び、何を作るかを考え制作に取り組みました。

「木」という普段なかなか手にする機会のない素材から、「こんなの作りたい」とイメージを説明して、どうすればできるかを積極的に相談する姿が見られました。

「のこぎり」や「かなづち」など工作機械の安全な使い方を学びながら個性的な作品を作ることができました。



しっかり支えて!ゆっくりレバーを動かして…うまいぞ!

■子育てひろば「あおぞら」&

ひよこクラブ合同イベント

『クリスマスパーティー

in おはなしの会』

日時:2025年12月10日(水)

10:30～11:30

参加者：大人 9人

こども 10人

ボランティア：

おはなしの会 5人

サンタクロース 1人



サンタさんありがとう!

親子に大人気のイベントです。

今年は、大型絵本やエプロンシアター、紙芝居などでゆったりした時間からスタート!こどもたちは、お母さんのひざに座り、興味津々で見っていました。また、大きなクリスマスツリーのパネルに親子で飾りつけをして、世界にひとつだけのツリーを完成させました。

親子で帽子とリースの土台にシール貼りを楽しんだあと、できあがった帽子をかぶってキーボードとギターの生演奏に合わせて「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース🎅」をみんなで歌いました。鈴やタンバリン、カスタネットで「タンタン」「リンリン」と演奏しているこどももいてとても楽しい演奏会になりました。

このあと、地域のボランティアのサンタクロースが登場!

突然のサンタさんにこどもたちはビックリでしたが、一人ひとり手渡しでプレゼントをもらってとても満足そうでした。

最後にサンタさんを囲んで、記念撮影、今年の一足早いクリスマスをみんなでお祝いすることができました。



色とりどりの三角帽子をかぶって、ハイポーズ!

みなさま ご参加
ありがとうございました♪
当日いただいた
たくさんの感想を紹介します

SOUND POCKET
ピアノカの魔術師
「#TWO INSTANTS」

とき: 2025 年 9 月 13 日(土) 14:00~15:00

会場: 笠岡市保健センターギャラクシーホール

参加者: 100 人

・生演奏がとてもエネルギッシュで、ついリズムを取りたくなる
感じでした。

・子どもたちも楽しんでいし、私もめっちゃ楽しかったです。
演奏されている姿・・・全身から熱いものが伝わってきて、
時に言葉にも聞こえました。ギターも世界観が広がり、とても
厚くも聞こえました。最高のコンサートでした ☆☆☆☆☆

・初めての参加でした。とても楽しかったです。
最高にステキな一時でした。ありがとうございました。
また、岡山に来てもらえることがあれば、参加したいです。
(えんどう ようこ)

・たのしかったです。ありがとう! (おかだ まゆ)

・とても楽しかったです。もっとたくさんの方に参加してもらいた
いですね。音楽の良さを再確認しました。
ありがとうございました。

・いろんな国の曲が聞けたり、その国の風習がわかったりして
楽しかったです。 (よこかわ みなと)

・音楽って「音を楽しむ」と書く通りだなと体感しました。
音楽ができると人生が豊かになりますね。自分も楽器が演
奏できたらいいなと思いました。 (たなべ まや)

・おとがきれい、ねそうになった (やまさき しゅん)

・私の知っているピアノカとは思えない演奏で、すごく引き込ま
れました! 手拍子のマネッコする時間も一体感を感じられて
よかったです。ありがとうございました。

・からだ自然に動く楽しい曲ばかりで とーても
おもしろくて とっても良かったです。

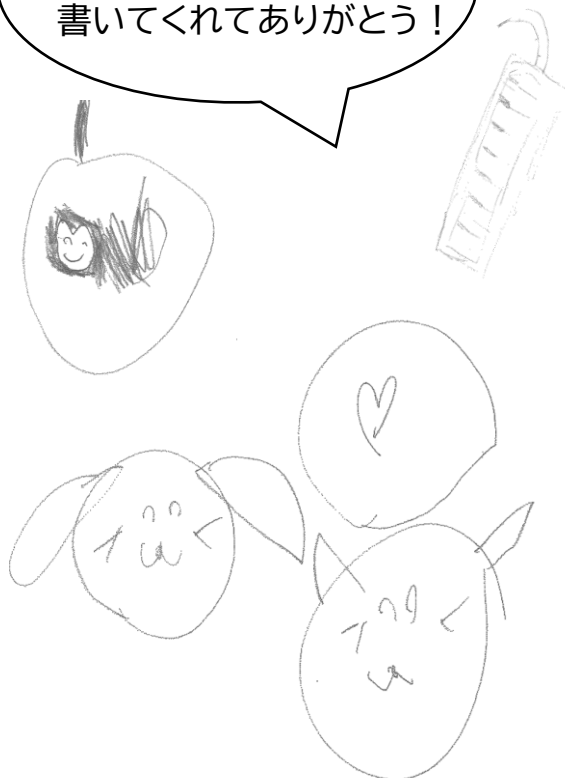
・念願のライブに出来ました!

・すごかったし、面白かったです。 (うえだ りこ)

・自分の知っているピアノカの音と全く違って聴こえて、
すばらしかった。音楽で平和な世界になりますように。

・ピアノカのうらわぎをつかってみたいと思いました。
(おおしま りんか)

みなさん
いつも ステキなイラスト
書いてくれてありがとう!





～本日の舞台～



2025 年 12 月 12 日 (金) 18:30～19:30
笠岡市保健センターギャラクシーホール

ソロ人形劇オリジナル短編作品集



Shoshinz

2025 年 カナダ 4 都市ツアーにて
「Happy Go Lucky」31 ステージを
ソールドアウト。5 ツ星の劇評を獲得。

Happy Go Lucky

ハッピー

ゴー

ラッキー

こんにちは！
ヤノミです。



撮影 スズキマサミ

「とるに足らない些細なことの中にこそ美しさがある」
という信念のもと、日常のありふれた小さなことの
中にある笑いを見つけ、そこからさまざまな
物語や瞬間を豊かに表現する

またジャンルにとらわれず、
子どものスピリットで
自由に作品創りを行なっている

お問い合わせ
shoshinz.official@gmail.com

小心ズ公式サイト

<https://shoshinz.jimdofree.com>



■食卓に吹く風（46） ～どうなる米価格～

■令和の米騒動



■ふんばりどころの 崖っぷち

12月に入って農作業も一段落、という感じになりました。米作りの最終段階で「トース」と、いわれる籾摺りが終わり、外皮部分のスクモのくん製、黒スグモを作ったところです。

夫も私も傘寿と喜寿を迎え、この頃 30kg の米袋を持て余すようになり、さて米作りをどうするか、誰かに託せるのか思案中です。

令和の米騒動といわれる今年の米不足と高騰で主食の米事情の行方は、今や国民の一大関心事です。ひと昔前の、朝食はご飯と味噌汁の時代と較べると、一人当たりの米の消費量は半減しているそうです。それでも何もかもが値上がりしている今、節約のためパンや麺類の回数を増やすなど、米離れは更に進むと思われます。とはいっても、米の主食の座はゆるぎないものなので、一年前のざっと 2 倍という今の価格には誰も納得していないでしょう。

兼業農家としてずっと米作りをしてきた身としては、この騒動も予測できた気がしています。森林が 70% という日本の国土。耕地は中山間地での小規模なものがほとんどです。

米の専業農家としてやっていけている人は僅かでしょう。先祖の守ってきた土地を荒らすまいと兼業で頑張っている人は、本業で稼いだお金を何百万もする農機具や、肥料代などに注ぎ込んでコスパなどを考えていません。そういうお米が市場で果たしてきた役割も大きかったのではないのでしょうか。

耕地の狭い日本での小規模農業のコストはすこぶる高くつくものです。

お金や労力を使って米を作るより、買って食べたほうがましだという農家の放棄地が溢れ、増え続けています。生産者側から消費者側に回った人は、縁故米で養われていた人たちも含まれるのでかなりの大移動だと思われます。

ふんばってきた農家の後継者もういない崖っぷちの現状が、混乱の一つの要因なのは確かだと思います。

そして今、この SNS の時代、人工知能の時代です。産業としての競争力が果たして米作りにあるのでしょうか。産業はお金を生み、経済を動かし、マーケットが支配するものですが、主食としてのお米は食料の安全保障という別の次元の問題でもあります。生産者と消費者がある程度折り合える落としどころにいたるよう全国民が見守っています。

■しんどいけど嬉しい？

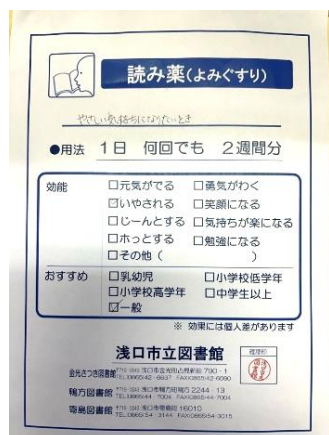


わが家の田んぼは 3 反余り。夫の弟妹家族や、娘や息子等、6 家族が養われています。米作りは 6 月に土を入れた箱に籾種を蒔き、苗代床で育てるところから始まります。手押し耕運機での数回の田起こしや施肥も大変ですが、夏の水の管理には相当手間がかかります。農機具は親戚から譲られた旧式のものばかり。バインダーで刈ってハゼで天日干しにします。稲刈りは予定を組んで親戚や孫たちを呼び寄せ、盛大にイベント化して楽ができるようにしています。人海戦術でハゼも見る間に出来上がり、しんどいけど嬉しい、皆そんな顔をしています。

農業はお天気次第と言いますが、貴重な自然の恵みの汗をかいて収穫する。いわば人類の基礎的必要体験です。労働生産性やコスト主義とは別の世界が農業には息づいています。

（石井廣子）

■阿藤美穂子



浅口市の図書館で「読み薬」というイベントがありました。薬袋を模した封筒の中に本が1冊入っていて、どんな時に読むかとか効能などを示した紙が貼ってありました。私は「自分の気持ちに素直になりたいとき」と書いてある薬袋を手にとりました。どんな本だろうとワクワクしながら取り出したのがこの本でした。

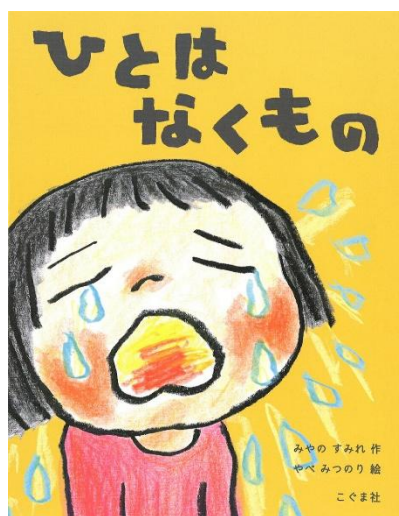
中学2年生の優希は、クラス替えで仲の良かった友だちと別々になりテニス部の瞳子たち3人グループとつき合うようになったが、次第に瞳子たちや周囲の目を気にして本音を隠しながら生活することに息苦しさを

感じるように……。そして、教室に入らない転校生 米倉愛の一言が心に深く刺さる。

「透明なルール」とは、自分で自分自身をしばる目に見えないルールや、みんなと同じでなくてはいけないという同調圧力を意味していると思います。これが、今の子どもたちだけでなく、大人たちにも生きづらさを感じさせる社会問題になっているのです。今を生きる10代の皆さんにぜひ読んでほしいです。



『透明なルール』
作：佐藤 いつ子
出版社：KADOKAWA



『ひとはなくもの』
作：みやの すみれ
絵：やべ みつなり
出版社：こぐま社

現在、倉敷市立美術館で「やべ みつなりと矢部太郎親子展」を開催しています。やべ みつなりさんは、マンガ「大家さんと僕」の作者、矢部太郎さんのお父さんで紙芝居、絵本作家です。「ひとはなくもの」は、孫のすみれさんが小学校1年生の時に作った紙芝居を元にしてつくられた絵本です。みつなりさんの絵からは、何気ない日常の1コマをいとおしみ、あたたかく見守るやさしさが感じられます。父から子に伝わった描くことをよろこび、生きることをたのしむ心が見る人をいやしてくれる素敵な展示でした。まだ、行かれていない方は、12月21日まで開催されていますのでぜひ行ってみてください。

■ハーモニーネット未来からのお知らせ

(問い合わせ：0865-63-4955)

12月からの予定

インターネットから

ハーモニーネット未来 検索

クリック

- ※ホームページでも右記の予定を
みることができます。
- ※事務所とは、ハーモニーネット未来
のことです。
- ※予定が変更する場合があります。
- ハーモニーネット未来
(TEL0865-63-4955)まで
お問い合わせください。
- ※「ぴゅあそ〜る」(事務所 2F)
毎週火曜日 10:00〜
- ※移動ひろば「あおぞら」
毎週火曜日 10:00〜
(市民活動支援センター)
- ※「おはなしの会」毎週水曜日
10:30〜
- ※「あおぞらカフェタイム」
毎週木曜日 10:00〜

日 程	時 間	内 容
12/14(日)	10:00〜	文章教室(事務所2F)
21(日)	10:00〜	りこカフェ(事務所2F)
	10:00〜	休日の昼ごはん(大井児童館)
27(土)〜2026/1/4(日)		
事務所お休み		
1/5(月)	13:00〜	事務所スタート
1/6(火)	9:00〜	子育てひろば「あおぞら」スタート
	10:00〜	ぴゅあそ〜る
10(土)	10:00〜	絵画教室(事務所2F)
11(日)	10:00〜	文章教室(事務所2F)
12(月)	10:00〜	休日の昼ごはん(大井児童館)
24(土)	10:00〜	絵画教室(事務所2F)
25(日)	10:00〜	りこカフェ(事務所2F)
2/8(日)	10:00〜	文章教室(事務所2F)
14(土)	10:00〜	絵画教室(事務所2F)
22(日)	10:00〜	りこカフェ(事務所2F)
28(土)	10:00〜	絵画教室(事務所2F)
3/13(金)	18:30〜	舞台鑑賞「イノシシと月」 (笠岡市保健センターギャラクシーホール)



「レシート1枚」でできる支援！ 毎月11日はイエローレシートの日

買い物をしたら、店内設置のボックスに黄色いレシートを
入れてください。1%が、ハーモニーネット未来に寄付されます。

場所：マルナカ笠岡店

(☎714-0081 岡山県笠岡市笠岡2388)

いのちまるごとプロジェクト事業

毎月の **お米が足りません！**

米米(こめこめ)プロジェクト 2024

〜こどもたちに おなかいっぱい食べる しあわせを〜



2016 年から行っている「いのちまるごとプロジェクト」の中で、
ひとり親家庭と生活困窮家庭に向けて **食料支援「てとて」**を行っています。
食材は主に、企業や個人から当法人のフードバンクに寄付で集まったものを
活用し、毎月 1 回約 200 家庭に配布&配達を続けています。
しかし、現在、継続するための活動資金が不足し、お米を購入するこ
とができません。 **運営費・お米の寄付をお願いします！**

ご寄付いただいたお米は、スタッフとボランティアで丁寧に小分けし、
食べ物が必要なご家庭にお渡しいたします。

また、お米以外にも下記のを随時集めています。
お家の中で眠っているものが、あの子のおなかを満たします。
皆さまからの温かいご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

ご寄付いただきたいもの

☑お米(精米・玄米)：少量からでもお受けします。
玄米なら古米でも大丈夫です。

☑現金寄付：ハーモニーネット未来は「**認定NPO法人**」です。
確定申告で寄付金控除が受けられます。

現金 銀行振込 郵便振替 クレジット

など、詳しくは裏面をご覧ください。

その他、各種商品券や全国共通おこめ券など
お家に眠っている金券等があればご寄付ください。
また、随時食料・日用品の寄付もお願いいたします。



●岡山県内の食料支援を行っている市町



次回舞台鑑賞のお知らせ

「大変だ！お月様が元気ないらしい！」
動物達が広場に集まって相談を始めます。
お月様を元気づけるため、
十五夜の晩に出し物大会をすることになりました。

『イノシシと月』 劇団さんぽ

2026 年 3 月 13 日(金)18:30〜
笠岡市保健センターギャラクシーホール)



福岡の昔話

イノシシと月

脚本・演出 西上寛樹
音楽・振付 西村りな